

早稲田大学

12/19 [土] 13:00~18:00
2015.

■会場：早稲田大学戸山キャンパス
36号館 382教室

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1
※東京メトロ東西線早稲田駅徒歩5分

《基調講演》

小松和彦

《パネルディスカッション》 コーディネーター：吉原浩人

増子和男・小峯和明・徳田和夫・陳小法・魯成煥

《総合討論》○基調講演者・パネラー全員登壇

《懇親会》19:00~21:00 場所未定 会費：4,000円

12/20 [日] 9:30~17:20
2015.

要事前登録

■会場：早稲田大学戸山キャンパス
33号館第一会議室

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1
※東京メトロ東西線早稲田駅徒歩5分

《研究発表1／青年論壇》 司会：河野貴美子

《研究発表2／一般発表》 司会：陳小法

《研究発表3／一般発表》 司会：魯成煥

19日(土)の懇親会、20日(日)の研究発表会には、
事前申込が必要です。
詳しくは、裏面をご覧ください。

主催：早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「グローバル化社会における多元文化の構築」／

早稲田大学日本宗教文化研究所／中国・浙江工商大学東亜研究院／韓国・蔚山大学校人文大学日本語日本学科

共催：早稲田大学総合人文科学研究センター／早稲田大学多元文化学会／早稲田大学文化構想学部多元文化論系

後援：国際交流基金／早稲田大学総合研究機構

協賛：中国・浙江省中日関係史学会

※両日とも参加費は無料ですが、資料代 500 円をご協力ください。

妖異怪異変異
東アジア文化交流
国際シンポジウム

12/19[土] 13:00~18:00
2015.

■会場：早稲田大学戸山キャンパス36号館 382教室

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1 ※東京メトロ東西線早稲田駅徒歩5分

《基調講演》

◆自然災害と怪異伝承—「蛇抜け」伝説の考察—

小松和彦 (国際日本文化研究センター所長・総合研究大学院大学教授)

《パネルディスカッション》コーディネーター：吉原浩人

◆魑怪異譚考—日中比較の立場から—

増子和男

(茨城大学教育学部教授・早稲田大学文学学術院非常勤講師)

◆ものがモノになるとき—東アジアの怪異をめぐる—

小峯和明

(立教大学名誉教授・早稲田大学総合人文科学研究センター客員上席研究員)

◆妖怪・モンスターと〈鏡〉

徳田和夫

(学習院女子大学国際交流学部教授・早稲田大学文学学術院非常勤講師)

◆妖魔化した関白—明清文人の豊臣秀吉観—

陳小法

(浙江工商大学東亜研究院教授・早稲田大学日本宗教文化研究所招聘研究員)

◆越境する日本の妖怪

魯成煥

(蔚山大学校人文学部日本語日文学科教授)

《総合討論》○基調講演者・パネラー全員登壇

《懇親会》19:00~21:00 場所未定 会費：4000円

19日(土)の懇親会、20日(日)の研究発表会には、事前申込が必要です。

懇親会

参加希望者は、12月13日(日)までに、下記田辺のアドレスまでお申し込みください。

研究発表会

日曜日は戸山キャンパス閉門のため、事前にお名前の登録が必要です。日曜の聴講希望者は、12月17日(木)までに、下記田辺のアドレスまでお申し込みください。

※当日は、戸山キャンパス正門左側の守衛所に、お名前をお告げください。

◎お申し込み先

総合人文科学研究センター助手・田辺理

<tadashigandhara@gmail.com>

お申し込みの際には、ご所属(大学名・学年等)もお知らせください。
5日程度経っても、確認の返信がない場合は、再度お送り願います。

※上記以外のお問い合わせは、下記吉原のアドレスまでお願いいたします。

総合人文科学研究センター研究部門

「グローバル化社会における多元文化学構築」代表・吉原浩人

<yoshi-w@qa2.so-net.ne.jp>

12/20[日] 9:30~17:20
2015.

要事前登録

■会場：早稲田大学戸山キャンパス33号館第一会議室

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1 ※東京メトロ東西線早稲田駅徒歩5分

《研究発表1／青年論壇》

司会：河野貴美子

◆キャラクター論から見る現代の妖怪

—ポケモンは妖怪か—

肱黒正子 (早稲田大学文化構想学部多元文化論系5年)

◆節分の百鬼夜行—室町時代の文献を中心に—

崔鵬偉 (早稲田大学大学院文学研究科東洋哲学コース修士1年)

◆江の島弁才天と龍口明神

—教化される龍と教化する龍—

石津亜美 (早稲田大学大学院文学研究科東洋哲学コース修士3年)

◆「善悪報譚」という方法

—『日本霊異記』の説話をめぐって—

荒川聡美 (早稲田大学大学院文学研究科日本語日文学コース博士4年)

◆再生譚に表れる日本と中国の魂と肉体観

関千亜紀 (水戸葵陵高校講師)

《研究発表2／一般発表》

司会：陳小法

◆韓国の茶神になった中国の妖怪

朴淳希 (蔚山大学校人文学部講師)

◆歌聖の創造と祭祀—柿本人麿を事例として—

城崎陽子 (國學院大学講師)

◆日本における楊貴妃怪異説

—台北故宮博物院本『歌行詩』『長恨歌』

書き込みからの考察—

岡部明日香 (岐阜女子大学文化創造学部准教授)

《研究発表3／一般発表》

司会：魯成煥

◆「変化」考—『古今著聞集』の天狗詠歌譚をめぐる—

柳川響 (早稲田大学日本古典籍研究所招聘研究員)

◆一条兼良と「鬼」

田村航 (明治学院大学講師)

◆金東里『巫女図』と芥川龍之介『おぎん』における

習俗とキリスト教との葛藤

—韓日の信仰観・家族観比較を視点として—

洪明嬉 (蔚山大学校人文学部講師)

◆韓国の絵本にみる“トッケビ (도깨비)”のイメージ

—描写と翻訳をてがかりに—

小松麻美 (蔚山大学校人文学部専任講師)